

商業販売額1年6か月ぶり増、経産省調べ

Edited By LogisticsToday On 2017/03/02

経済産業省がこのほど発表した1月の商業動態統計調査結果（速報）によると、1月の商業販売額は34兆8120億円で前年同月に比べて0.3%増加した。2015年7月以来18か月ぶりの増加。

このうち卸売業は23兆2300億円（0.5%減）で、小売業は11兆5820億円（0.5%増）だった。季節調整済みでは、商業販売額が前月比0.5%上昇した。卸売業は0.5%低下、小売業は0.5%の上昇となった。

■卸売業、衣服・身の回り品卸売業20.9%減

卸売業を業種別にみると、衣服・身の回り品卸売業が20.9%減、繊維品卸売業が12.7%減、その他の卸売業6.4%減、家具・建具・じゅう器卸売業4.8%減、医薬品・化粧品卸売業3.9%減、建築材料卸売業2.3%減、農畜産物・水産物卸売業1.3%減となった。

一方、鉱物・金属材料卸売業が3.8%増、食料・飲料卸売業2.9%増、各種商品卸売業2.6%増、化学製品卸売業1.9%増、機械器具卸売業1%増。

大規模卸売店販売額は8兆261億円で3.8%増加した。商品別にみると、非鉄金属が16.5%増、化学製品11.9%増、石油・石炭8.8%増、鉄鋼6%増、その他の機械器具4.2%増、鉱物27.1%減、繊維品18.4%減、紙・紙製品3.8%減となった。

■百貨店・スーパー販売額1%減

小売業を業種別にみると、燃料小売業が6.7%増、自動車小売業4%増、医薬品・化粧品小売業2%増、飲食料品小売業1.2%増、無店舗小売業1.2%増となった。一方、各種商品小売業（百貨店など）が2.9%減、織物・衣服・身の回り品小売業2.3%減、機械器具小売業0.9%減。

百貨店・スーパー販売額は1兆6739億円で1%減少。百貨店は5740億円で2.2%減、スーパーは1兆999億円で0.4%の減少となった。

商品別にみると、衣料品は4.3%減、飲食料品0.4%増、その他1%減。百貨店・スーパーの季節調整済前月比は1.1%上昇。百貨店は1.5%低下、スーパーが2.5%上昇だった。

百貨店の主力商品である衣料品は、その他の衣料品が6.4%減、婦人・子供服・洋品4.1%減、身の回り品2.7%減、紳士服・洋品が1.4%減となったため、衣料品全体では3.4%の減少。

飲食料品は2.2%減。その他は、家庭用電気機械器具が18.9%減、家具が5.4%減、食堂・喫茶4.8%減、家庭用品3.6%減、その他の商品2.6%増となったため、その他全体では0.4%増となった。

スーパーの衣料品は、身の回り品が11.5%減、その他の衣料品7.8%減、紳士服・洋品5.4%減、婦人・子供服・洋

品5.1%減となり、衣料品全体では6.6%減。

スーパーの主力商品である飲食料品は、0.9%の増加。その他は家具が18.2%減、家庭用品6.3%減、家庭用電気機械器具4%減、その他の商品0.7%減、食堂・喫茶1.9%増でその他全体では2.1%減少。

■コンビニ販売額3.7%増

コンビニエンスストアの商品販売額・サービス売上高は9136億円で3.2%増加。商品別にみるとファーストフード・日配食品が3422億円で3.8%増、加工食品が2452億円で4.1%増、非食品2746億円で1.7%増となり、商品販売額は8620億円で3.2%増加。サービス売上高は516億円で4.1%増。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/280143>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.